

MDS 探究・発展 自己評価

評価した日 年 月 日

年 組 番 氏名

1～9の各項目で当てはまると思うところに○をつけてください。その後でフォームにも数値を入力してください。

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
1. 論理的思考力	情報を適切に処理できず、結論が矛盾していたり曖昧であった。主張が感覚的または根拠のないものに偏りがちで、説得力が乏しかった。	問題について因果関係や関連性の分析や情報の整理が不十分で、結論に一貫性が欠けることがあった。主張や説明が曖昧で、説得力に欠ける場合が多かった。	問題の構造を理解し、基本的な因果関係を正しく捉えることができた。一部の主張で根拠が弱い場合があるが、必要な情報を整理し、全体として筋の通った結論を出すことができた。	問題を分解し、因果関係や関連性を的確に分析して結論を導き出すことができた。複数の情報を統合し、根拠に基づいた一貫性のある主張や提案を行うことができた。
2. 科学的態度	証拠やデータに基づく判断がほとんどなく、直感や感情に頼ることが多かった。	判断に感情や主観が入りやすく、証拠やデータに基づく行動が不十分だった。興味を持ったテーマについて情報を集めることはできたが、表面的な理解にとどまることが多かった。	証拠やデータに基づいて判断しようとする姿勢を持って取り組んだ。興味を持ったテーマについて、自主的に情報を集めることができた。	客観的な視点を持ち、証拠やデータに基づいて論理的に判断することができた。好奇心が強く、新しい知識を追求し続けることに意欲的だった。
3. 主体性	自分の考えをあまり表明することがなく、他者の考えに依存しがちだった。指示や助言がないと行動を起こせなかった。	他者の意見を待つ姿勢が多く、自分の意見を表明する機会が限られていた。必要なときに行動を起こすが、指示がなければ動かないことがあった。	自ら提案し周囲に働きかけることができた。必要に応じて他者の意見を取り入れつつ、自分の考えを明確に伝えることができた。	自ら目標を設定し、それを達成するための計画を立てて実行することができた。他者に協力しながらも、自分の役割や責任を積極的に果たした。
4. 表現力	自分の意見や考えを明確に伝えるのが難しかった。プレゼンの表現にも自信がもてなかった。	自分の意見や考えを伝える際に、抽象的または曖昧になることがあった。相手に上手く伝わらないことがあった。	自分の考えを相手に理解されやすい形で伝えることができた。一部表現が単調になる場面もあったが、全体として明確に説明できた。	自分の考えを相手に分かりやすく具体的に伝えることができた。言語や非言語を使い分け、相手の状況に合わせた表現ができた。
5. 共感力	他者の立場や感情を理解しようとすることがほとんどできなかった。相手の話を聞かず、自分の考えや感情を優先することが多かった。	自分の意見を優先し、相手の気持ちに気づかないことがあった。共感的な対応が部分的または表面的になることが多かった。	話をしっかり聞き、相手の気持ちを尊重することができた。相手の感情を理解するが、一部の状況で対応が不十分になる場合があった。	他者の立場や感情を深く理解し、それに応じた行動や発言ができた。話を良く聞き、相手を感じていることを正確に読み取ることができた。
6. 疑う力	相手の意見をそのまま受け入れ、疑問をほとんどもたなかった。矛盾や問題点に気付いても見過ごしてしまった。	相手の意見を受け入れることが多く、疑問をもつことが少なかった。矛盾や不明な点に気付いても深く掘り下げず、必要な検証を行わないまま判断することがあった。	情報に対して疑問を持ち、基本的な根拠を確認することができた。深堀が不十分な時もあるが、疑問を深めるために質問を積極的に行って情報を評価することができた。	与えられた情報に適切に疑問をもち、検証することができた。複数の視点から情報を分析したり、適切な根拠を求めたりして自分の考えを発展させることができた。
7. 課題設定力	問題点を把握できず、他者との話がないと課題を見つけることができなかった。設定した課題が現実的でなく、曖昧なものになっていた。	問題点は把握するが、課題の優先順位付けや具体化が不十分だった。設定した課題が抽象的で、解決につながりにくい場合があった。	現状の問題点を把握し、解決すべき課題を適切に見つけることができた。課題の明確化にやや時間がかかったが、概ね妥当な課題を設定することができた。	現状を的確に把握し、重要で解決可能な課題を明確に設定することができた。課題の優先順位をつけ、取り組む内容を論理的に整理し、具体的な行動計画に反映できた。
8. 柔軟性	状況の変化に対応できず、計画や行動を変更することが難しかった。新しい意見や方法を受け入れることに抵抗が強かった。	変化や新しい状況に適応するのに時間がかかることがあった。他者の意見に耳を傾けるが、自分の方法や考えに固執する場合があった。	状況の変化に応じて計画や行動を調整することができた。他者の意見を聞き入れる姿勢があり、新しい方法を試すことに抵抗が少なかった。	異なる意見や新しい視点を積極的に受け入れ、それを取り入れることができた。想定外の困難にも冷静に対応し、解決策を見つけることができた。
9. データサイエンス	平均や分散などの基本統計量の計算に困難を感じた。統計的検定の概念や目的を十分に理解できず、データの傾向や結果を適切に解釈することが難しかった。データ分析のプロセスを理解するのが難しく、主観的な結論に偏りがちだった。	平均や分散などの基本統計量を計算できるが、解釈する際に誤解や偏りが生じていた。統計的検定（例：t 検定）の概念を理解しているが、実際に適用することが難しかった。	平均、分散、標準偏差などの基本統計量から、大まかな傾向を解釈できた。t 検定やカイ二乗検定の基本的な使用方法を理解し、指導を受けながら適用できた。一部解釈に曖昧さが残るが統計的結果を基に妥当性のある結論を導き出すことができた。手計算や簡単なツールを使ったデータ分析ができた。	平均、分散、標準偏差などの基本統計量から結果を適切に解釈できた。t 検定やカイ二乗検定など、適切な統計的検定を選択して説得力のある結論を導くことができた。統計ソフトやプログラミングツールを使用して効率的にデータを分析することができた。

自由記述 A：ここまでの活動を通して、新たな気づきを得たと思うことや、〇〇さんのこういうところがすごい
B：ここを頑張ったので見てほしい、自分が成長できたと思うこと など